



	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

- 大学案内
- 入試情報
- 教育・学生生活
- 研究
- 社会連携
- 留学・国際交流
- 学部・大学院等
- 研究所・施設等
- 広報・報道
- 採用情報
- 校友会・同窓会
- 支援財団・基金
- 図書館・博物館等
- 大学病院
- 附属学校

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成21年1月-12月](#) > 「フェルミガンマ線宇宙望遠鏡」が12個の新しいパルサーを発見

「フェルミガンマ線宇宙望遠鏡」が12個の新しいパルサーを発見

NEWS RELEASE  広島大学

広島大学学長室広報グループ
〒739-8511 広島市鏡山 1-3-2
TEL:082-424-6017 FAX:082-424-6040
E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp
(※@は半角に置き換え送信してください。)

平成21年1月7日

NASA'S FERMI TELESCOPE UNVEILS A DOZEN NEW PULSARS
「フェルミガンマ線宇宙望遠鏡」が
12個の新しいパルサーを発見
- NASA、フェルミガンマ線宇宙望遠鏡日本グループ -
(アメリカ東部時間1月6日午後4時、日本時間1月7日午前6時発表)

フェルミガンマ線宇宙望遠鏡日本グループ(代表:広島大学 大杉節 特任教授)など日米欧の共同研究チームは、日本が開発に大きく貢献した「フェルミガンマ線宇宙望遠鏡」が、ガンマ線でのみ周期的パルスを発するパルサーを、昨年10月に発表したCAT1と呼ばれる超新星残骸の中での新発見に続き、新たに12個を発見したこと、および、既に電波やX線で知られている18個のパルサーから周期的ガンマ線を初めて検出したことを、米国カリフォルニア州ロングビーチで開催中のアメリカ天文学会で発表しました。合わせてNASAもプレス発表しました。

先代のガンマ線望遠鏡は、9年間の観測期間中に6個のパルサーを発見したにすぎませんでしたが、新しいフェルミガンマ線宇宙望遠鏡は、3ヶ月の観測で既に37個のパルサーをガンマ線で検出しており、優れた性能を見事に発揮しています。

これまで、パルサーの発光メカニズムは、はっきりと解っておりません。今後、共同研究チームは、ガンマ線でのみ周期的パルスを発するパルサーを13個も発見したこと、および、観測されたガンマ線エネルギー分布から、幾つか発表されているパルサー発光メカニズム理論を絞り込んでいく予定です。

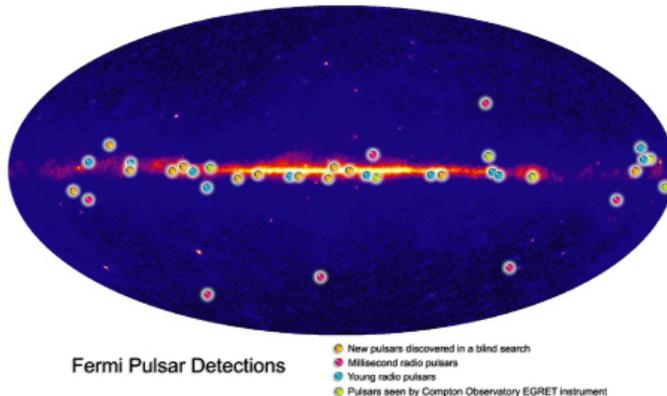


図1. フェルミガンマ線宇宙望遠鏡が観測した全天図上に示す、発見したガンマ線でのみ周期的に光る13個パルサー(オレンジ色)と、その他のガンマ線でも周期パルスが観測されたパルサー18個(水色、赤)及び、先代のガンマ線望遠鏡EGRETが検出し、今回も検出確認した6個のガンマ線パルサー(黄緑)。(NASA提供)

NASAプレス発表:
http://www.nasa.gov/mission_pages/GLAST/news/dozen_pulsars.html

注1)「フェルミガンマ線宇宙望遠鏡」
日本、米国、イタリア、フランス、スウェーデンの研究者が共同開発し、昨年6月にNASAから打ち上げられました。

注2)フェルミガンマ線宇宙望遠鏡グループ
大杉節(代表、広島大学)、釜江常好(SLAC)、田島宏康(SLAC)、深澤泰司(広島大学)、水野恒史(広島大学)、高橋忠幸(JAXA/ISAS)、河合誠之(東京工業大学)、片岡淳(東京工業大学)、片桐秀明(広島大学)、高橋弘充(広島大学)、尾崎正伸(JAXA/ISAS)、佐藤理江(JAXA/ISAS)、大野雅功(JAXA/ISAS)、田中孝明(SLAC)、林田将明(SLAC)、内山泰伸(SLAC)、奥村 暁(東京大学)、金井義和(東京工業大学)、岸下徹一(JAXA/ISAS)、安田創(広島大学)

注3)パルサー
磁場の強い中性子星が高速に回転している天体で、重い恒星(太陽の様に核融合反応で輝いている星)が燃料を使い切った時に潰れて超新星爆発を起こし、中心に残る小さな高密度星です。強い磁場が高速に回転している為に荷電粒子の加速器とし

広大公式アカウント一覧

- Twitter
- Facebook (日本語版)
- Facebook (英語版)
- YouTube
- 行事カレンダー
- ストリートビュー
- キャンパスカメラ
- 学内ポータル

て働き、光速近くまで加速された荷電粒子と磁場との相互作用である特定の方向に光（電波もガンマ線も光の一種）を出します。中性子星は回転している為に、灯台のように回転周期に合わせてパルス状に光って見えます。

【お問い合わせ先】

広島大学宇宙科学センター長・特任教授 大杉 節
TEL 082-424-7378